

「時代に先駆けて・・・ゆりの樹幼稚園が目指すもの」

—なぜ、今、LED ライトなのか— **かけがえのない命を守るために**

あけましておめでとうございます、今年も心を一つに、締めくくりの学期、気を引き締めて頑張ります。

「ゆりの樹幼稚園の教育スピリット」は、もう皆さんご存知のことと思います。

「ゆりの樹が目指す7つの人間像」1、心と体が健やかな人 2、謙虚な人 3、正直な人

4、感謝できる人 5、柔軟性がある人 6、勇気がある人 7、自己責任がとれる人

私達教師はもちろんのこと、園児も含めて、保護者の方、そして私達とかかわるすべての人がこのような人達であってほしいと願い、そのことを達成する為に必要な

三つの教育（共育・響育・驚育）

三つの柱、1に「真の自立への道」（個別性と共感）

2に「知ることの喜びを与えること」（自己成長の継続と問題解決能力）

3に「感動と思い出を作ること」（生命の尊重と危機管理能力）

三つのかわり、1、「私は私」という自分の存在の確立

2、「私とあなた」という二者の関係、共に生きるということ

3、皆の中の自分という存在



その中で育まれる「自己選択→決断→承認→自信→自他分離→個別性→共感→自立」の教育の循環を通して、真に自立し、自分の事が大好きな子ども達を育てていく「**自分が大好きで、自分が信じられる**」教育の為に、自立の循環、その土台となるゆりの樹がもっとも大切にしている感情に気付くことから始まる「10E」です。

これを具体的に実践していることを、**三つのキーワード**としてあげるならば「**安心・安全・感動**」です。

安心の為に「**豊富な人的環境**」と安全の為に園児達の心と身体の健康の為に必要な「**精度の高い物的環境**」を整えることです。そして、その中で、いかに「**感謝・感激**」し、その年齢に応じた、適時適量の刺激を持ったカリキュラムを心に響く大きな「**感動**」をもって伝え、育ていけるかに心を砕いてきました。

感動の根底には、いつも「**安心・安全**」があると考えています。どんな不慮の事態にも最善が尽くせる、環境でありたいと願いながら・・・。

どんなにいい保育をしても、そこに「**安心・安全**」がなくては感動はゼロになってしまう・・・だからこそ環境を整えることに心を尽くしたいと考えています。それでも、私達も人間だからこそ、失敗も挫折もあります。失敗から学び、成長し続ける人間でありたいです。そしてもっとも恐れるのは私達にはどうしようもない天災による不測の事態です。だからこそ、「**今、LED ライト**」なのでした。

LED ライトは現在は、まだ、安価には買えません。その分、寿命も長いので、将来の廃棄量を考えると環境に優しいです。そして、確かに電氣量も少なく済みます。しかしながら、ゆりの樹幼稚園全園舎をLED ライトにしたのはそんな小さな視野ではないのです。そこには、ゆりの樹が最も大切にしている具体的なこと・・・園児達、そしてこの幼稚園に集う、すべての人達の「**安心・安全・感動**」という**大きな目的**があるのです。

それは、どういうことでしょうか？ 日本は「地震大国」と言われています。園児、職員、保護者の皆さんの安全を考えた時、建築着工の際、**すべての園舎の窓ガラスをペアガラス（二重構造）にすること、飛散防止フィルムを張ることを実施**しました。そしてずっと、**懸念して来たこと、それは唯一残った園内のガラス、電氣の蛍光管**でした。

もしも、福岡県にも地震が起きたら・・・園児達が一番に被害にあうのは、地震によって割れた蛍光管が天井から降ってくる以外、もうゆりの樹幼稚園にはありません。だからいつか、割れないライトができれば・・・その時は一気に交換する・・・その思いを昨年末、やっと実現することができました。

ゆりの樹はいつも、すべての人にとって「**安心・安全・感動**」の場でありたいと願っています。目に見えること・・・それはただ、LED ライトに変えただけのこと・・・けれどもそこには、こんな深いそして強い思いがあったのでした。

ゆりの樹幼稚園は教育、環境共に最善で、最高の環境であり続けたいと考えます。子ども達のより素晴らしい成長の為に、いつも、園児達の20年先の未来を見据えて、愛と思いやりを忘れず、夢と希望に向かって、勇気をもって、変化と進化を続けながら・・・

さて、新年にあたって、皆さんはどのような計を立てられたでしょうか。

大切なことは、「有言実行」だと思います。新しい年にあたり、どんな小さなことでもいいので、こうなりたい、こうしたいという今年の目標を「宣言する」ということが大事です。

過去を振り返ってみても、口に出したことは少しずつですが、実現に近づいた気がします。

同様に、「私には、これはたぶんできない、無理」と言ったことは、その言葉通り、実現できませんでした。

そういう意味でも、言葉の力ってすごいですね。昨年のお暮れにこんな川柳を見つけました。

「今でしょう。倍返しのおもてなし」流行語大賞を並べただけですが…これは、いくらでも言い換えられる気がします。

「今でしょう。倍返しのおもいやり」「今でしょう。倍返しのありがとう」「今でしょう。倍返しのごめんなさい」

これができたら素敵ですね。

そうしたら、みんなが「笑顔」になれる気がします。笑顔は、がん細胞さえ小さくするとも言われています。

まずは自分から行動ですね。行動といえばこんな言葉を見つけました。

『志は高く、腰は低く』この「志」と「腰」の落差が人間的魅力である。』

「志」は「心」の上に「士（さむらい）」と書きます。「志」の「士」は「之」という字が元だそうです。「之」は「ゆく」という意味があるそうです。これはフットワークの軽さを表しているそうです。

『志』とは何かというと「行動するぞ！」と心が指し示す方向のことです。志を立てているということは、もうやむにやまれぬ、動かないではいられない、やらないではいられない、そういう心があることを示しています。

そういう生き様をする士（さむらい）だから「志士」と呼んできたわけです。』（林英臣著『龍馬起つ』）

心がつく文字はたくさんあります。私が一番気を付けているのは「心を亡くす」で『忙しい』です。

そして一番好きなのは「心を受け止める」で『愛』しかも、受け止めるには、上ではなく下に立っていないと受け止められないから「アンダー（下）とスタンド（立つ）」で続けると「アンダースタンド」『理解する』・・・

だから【愛とは相手を受け止め理解すること】そしてやっぱりそこには【笑顔】ですね。

だから、私の今年の有言実行、一年の計は、『どんな時も、だれにでも、まずは目を見て、ニッコリ笑顔でありがとう』が大切なのだと思うのです。

『感謝上手は幸せの素、感激上手は元気の素、感動上手は若さの素』という言葉もを見つけました。

幸せだから感謝するのではなく、感謝しているから幸せなのです。感謝するとそこに感謝しないではいられないことが次々とやってきます。感激したり、喜んだりするとエネルギーが内側から溢れてきます。人が喜んでくれたら、元気が自然にわいてきます。

大人であろうと子供であろうと目を輝かせて生きている人には勢いや、若さを感じます。また、感動とは感じて動くことですね。パッと行動できることが若さのポイントと言えるでしょう。

だから有言実行ですね。『どんな時も、だれにでも、まずは目を見て、ニッコリ笑顔でありがとう』です。

そして、LEDライトに変えただけのこと・・・その小さな行動は、大きな思いを持ち続けたからこそ、LEDライトが発売になった時に即時で選択決断ができたのだと思います。

思いは必ず届きます。「念すれば花開く」ですね。「念という字は『心が今にある』と書きます。

今年も、いつも自分の心が『今ここ』にいることができるように。良い教育(エデュケーション)ができるように・・・このゾウさん(エレファント)の幼稚園で、自分の感情に気付いて(エモーション)、自己決断し、その思いを人に伝えて(エンターテイメント)、人間力(エンパワーメント)をもって、自分の人生を楽しみ(エンジョイ)、素晴らしい(エクセレント)な一年になるように有言実行で、行動変化(エクスチェンジ)し、努力したいと感じています。

夢をはぐくみ育てる為に『すくすく伸びる大樹の様に、大地にしっかり根を張り、失敗に学び、過去に感謝して、未来へ希望を持ち、愛と勇気をもって行動変化し、今をワクワク生きていきましょう』

心を一つに、一つにならない時、うまくいかないときはそのことも受け止めながら・・・

最後まで読んでくださりありがとうございました・・・今年もどうぞよろしくお願ひ致します。